

#### 修士論文・研究成果報告書の審査基準

- (1) 論文の形式と内容において当該研究分野の学問的水準に達している。
- (2) 当該の研究の背景・結果・将来性についての知見が示されている。
- (3) アプローチやデータの取り扱いにおいて独自性が見られる。
- (4) 神学的・教会的・社会的に意義ある研究である。
- (5) 論旨の理論的展開が明瞭であり、一貫性がある。
- (6) 批判的な分析と建設的な統合がなされている。
- (7) 研究に関する高い倫理性を反映している。

#### 博士論文の審査基準

- (1) 形式と内容において創造性・独自性があり、神学研究、教会と社会に対する理解と進展に寄与すること。
- (2) 研究の学問背景についての十分な理解を踏まえ、研究の今日的意義に関して深い知見が示されていること。
- (3) アプローチやデータの取り扱いにおいて高い分析能力・統合能力が十分に反映され、高度な学問的水準を示していること。
- (4) 論旨の論理的展開が極めて明瞭であり、一貫性があること。
- (5) 学術研究における高い倫理性を有していること。